

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月26日

協議会名: 酒田～勝浦航路確保維持協議会

評価対象事業名: 離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
①酒田市 ②酒田～勝浦航路 酒田港周遊(不定期)	①運航便数、運航時刻の調整 ②子ども無料キャンペーンによる情報発信及び誘客の促進 ③酒田港クルーズや貸切運航等の不定期航路の運航における収益の確保 ④令和元年10月の消費税改定に伴う運賃改定 ⑤燃料潤滑油費や船舶消耗品費、修繕費等の経費削減 ⑥山形県・酒田市が取り組む飛島振興プロジェクトとの連携における離島活性化方策の推進並びに酒田市、(一社)酒田観光物産協会、飛島観光協議会の3者の連携による航路改善計画の推進 ⑦インターネットを活用した乗船予約システムやキャッシュレス決済の導入、発券方法等の検討	【前回の事業評価結果】 引き続き、鳥海山・飛島ジオパーク等により更なる観光振興、交流人口拡大の取組みにつとめるとともに、情報発信の充実につとめ、新たな需要の掘り起こしを図る。 また、引き続き、船舶検査に向けた船舶消耗品や修繕においても適切に管理し、経費節減に努めつつ、運航の安心・安全を確保する。 【事業評価結果の反映状況】 鳥海山・飛島ジオパーク認定ガイドによる「ミニ飛島講座」の実施や飛島へ修学旅行に訪れた県内の小中学校に対し記念品等贈呈し更なる需要の掘り起こしに努めた。 船舶検査に向けた修繕費や消耗品について適切に管理し経費節減に努め安心安全な運航を確保することができた。	計画通りに実施されていない点があった 左記の改善事業の概要に掲げる項目の内、達成・実施したもの ④～⑦ 達成・実施できなかったもの ①～③ A 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月29日～5月31日における①定期船運航の減便、②子ども無料キャンペーンを中止したほか、③7月、8月の酒田港クルーズを中止した。	C ■旅客人数 計画: 24,000人(当初23,000人) 実績: 11,305.5人 ■達成状況 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言に伴う来島自粛要請※1や定期船運航の減便さらに感染防止対策として酒田港クルーズや誘客事業の中止、定員削減等※2を実施したことにより乗客数が大幅に減少し目標を達成できなかった。 達成率: 49.2% ※1来島自粛要請 来島自粛要請期間(4月8日～6月18日)中、満席に達したことによるお断りや振替の依頼を24日実施 ※2感染防止対策としての定員削減等 定員を半分の115人としたほか、健康確認シートによる健康チェック、検温、検温結果による感染被疑者に対する渡航自粛要請(現在も実施中)	現在、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えないことから、不定期航路の休止や乗船定員の削減など感染防止対策を継続せざるを得ず、乗客数等の回復は見込めない状況である。 よって、旅客数の目標を計画の24,000人から12,000人に下方修正し、新型コロナの感染状況を踏まえながら改善事業をすることにより旅客数の回復に努める。 なお、定員削減による運航及び欠損補填に対する特別措置としての補助を要望いたします。